

# シャロンの花だより

23期 主題：新しい歌を 主に向かって歌おう  
 ••• キリストの愛に結ばれて 協力しあい支えあう •••  
 「いかに幸いなことか、主に信頼をおく人」詩編 40:5a

## 卷頭言

### 「イエスに触れていただくために」

大森教会牧師：竹田 孝一



イエスに触れていただくために、人々が子供たちを連れて来た。弟子たちはこの人々を叱った。

しかし、イエスはこれを見て憤り、弟子たちに言われた。「子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのもので

ある。はっきり言っておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。」そして、子供たちを抱き上げ、手を置いて祝福された。

-マルコによる福音書 10:13 ~ 16 -

「イエスに触れていただく」とは、イエスさまに祝福をしていただくためにという意味です。しかし、イエスさまの時代においては、この親の行為は、子どもたちは祝福と律法教育の対象であるのですからごく当たり前でした。

「弟子たちはこの人々を叱った。」とあります。これもごく自然なことだったのです。子どもたちは祝福と律法教育の対象であっても、祈り、神の教えを聞く集会から除外されていたのです。ここで「叱った。」という言葉は「いさめた。」とも訳せます。時々、童謡などを歌う歌手のコンサートにお子さんお断りということがあります。がやがや騒ぐ子どもは邪魔なのです。しかし、これはごく当たり前のことです。

しかし、私たちが当たり前と思っていたことにイエスさまは、憤られたのです。むしろ、「子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。」と言われて、子どもたちをわたしのところに来るままにさせておきなさい

といわれるのです。

イエスさまは、大人も子どもも神の前において、同様な権利を持つということです。それは、子どもたちは祝福と律法教育の対象であるということではなく、つまり対象でなく、祝福を受ける権利、教育を受ける権利を等しく持つ者であるということです。ですから、教会では早くから幼児教育に取り組んできた歴史があります。キリスト教保育の中で、私たちが教育する者、子どもたちがされる者というようなことではなく、祝福と神から与えられた能力を持つ者として子どもたちは私たちの前に立っています。

自由学園を創立された羽仁もと子の文章があります。

「私たちに生徒を教える力はありません。私たちに彼らを支配する権威もありません。」と言って、「自由学園の教育には、生活には、最も強い権威があります。標準があります。自由学園の権威は、実にわれわれの父なる神であり、標準は活けるキリストにあります。私どもは、神に裁かれつつ学び、共にキリストに救われつつ教えられてゆくのです」と結びます。私たちは「われわれの父なる神であり、標準は活けるキリストにあります。私どもは、神に裁かれつつ学び、共にキリストに救われつつ教えられてゆく」者として子どもたちと歩むのです。

だから、イエスさまは、「共にキリストに救われつつ教えられてゆく」ことをさまたげた弟子に憤ったのです。

「子供のように神の国を受け入れる」ということですが、「子供を受け入れるように神の国を受け入れる」と解釈出来ます。それは子どもを保護するということではなく、人として等しく権利行使する主人公として、イエスさまは、子どもたちをわたしのところに来るままにさせておきなさいといわれるのです。

日々、私たちの中心で、子供たちを抱き上げ、手を置いて祝福されたという出来事が起こることを願いつつ共に救われていきましょう。

## 第2回会長会＆女性の集い

10月17日(土) 大森教会に於いて第2回会長会＆女性の集いが開催されました。「今、子どもたちは、そして私たちは？」をテーマに、開会礼拝では竹田孝一牧師奨励「子どもが真ん中－イエスに触れていただくために」の後、絶えることの無いキリストの心・精神を持って運営されている児童養護施設“光の子どもの家”的日常を描いたドキュメンタリー映画『隣る人』を鑑賞しました。

当日は、映画HPでの開催案内や教会掲示板を通して一般の方々が3名来てください、「児童問題の今」が社会の関心事であることを実感できました。

テレビや新聞で「児童虐待」のニュースが連日のように報道されています。私たちはそれを目にする度に、驚き、胸を痛め、こうなる前に周囲の人間が僅かでも、子どもの発するサインに気付かなかつたのだろうかと思ったりしま

す。でも自分が、その“周囲”的な人間だとしたら、気付くことができただろうか。そして気付いた時に、自分の隣りにいる子どもたちに、あるいはその親も含めて、どれだけ寄り添うことが可能だろうか…。

児童の問題は大人の問題と表裏一体を成しています。誰もひとりでは生きられない。かつての子どもである今の大人的苦悩もまた、家族を含めた周囲・社会の関心の薄さやひずみから生まれたものと言えるかも知れません。

この連鎖を解き放ち、子どもの今と未来がイエスさまの光に照らされ続けることを願う時に、私たちは少しでも、現実を理解し向き合い関わっていく「隣る人」となれないでしょうか。



### 映画『隣る人』

ある児童養護施設の日々を  
8年に亘り見つめ続けたドキュメンタリー

- ◆文部科学省選定(青年向き・成人向き)厚生労働省社会保障審議会特別推薦
- ◆第9回文化庁映画賞・文化記録映画部門大賞
- ◆第37回日本カトリック映画賞

監督：刀川 和也 / たちかわ かずや

アジアプレス・インターナショナル所属。フリーの映像ジャーナリストとして、01年から02年にかけて、アフガニスタン空爆の被害を取材、テレビ等で発表。その後は主に、国内及び東南アジアでカメラマン、取材ディレクターとしてテレビドキュメンタリー制作に携わる。延べ8年に渡る撮影を経て、「隣る人」を完成させた。本作が初監督作品。

#### ～あらすじ～

児童養護施設“光の子どもの家”。ここでは様々な事情で親と一緒に暮らせない子どもたちが「親代わり」の保育士と生活を共にしている。保育士マリコさんが担当しているのは、生意気ざかりのムツミと甘えん坊のマリナ。本来、親から無条件に与えられるはずの愛情だが、2人にとっては競って獲

得しなければならない大事な栄養素。マリコさんを取り合ってケンカすることもしばしばだ。そんなある日、離れて暮らしていたムツミの母親が、ふたたび子どもと一緒に暮らしたいという思いを抱えて施設にやってくる。壊れた絆を取り戻そうと懸命に生きる人々の、平凡だけど大切な日々の暮らしは今日も続く…。＊「隣る人」ホームページより

## 児童養護施設“光の子どもの家”

『隣る人』とは、ルカによる福音書10章のエピソード、「善きサマリア人」から発想を得た造語で、「…この三人の中でだれが、強盗に襲われた者の隣人になったと思いますか」とのイエスの問いかけに「その人を助けた人だ」と答えた者に「あなたも行って同じようにしなさい」と命じられた言葉に由来しています。

映画『隣る人』に描かれた“光の子どもの家”は2015年

に創立30年を迎えた児童養護施設です。「善きサマリア人」のたとえを聞いた創立者たちが、居場所のない子どもたち、傷ついた子どもたち、家族から半殺しにされて捨て置かれたような子どもたち、隣りに人のいない子どもたちに関わろうと祈ったことから光の子どもの家は始まりました。

# 60年目の大森 会長会&女性の集いで訪れて

飯田教会\*熊谷 祥子

ほぼ60年前、私は、弟と二人、叔父に連れられて、大森駅に降りました。小学5年生の夏休み、遊びに来たのですが、今の大森は別世界でした。開会礼拝の竹田先生のお話の「神様に愛されていることだけを、伝えなさい」のお言葉は改めて心に沁みました。日頃の説教でも、「あなた方は、神に愛されている存在なのだ」と教えられていきましたが、ついつい、自分も他人も傷つけてしまっている現実です。「隣る人」の映画は、あまり編集されていないドキュメントを見慣れていないことと、老化で耳が悪いこともあって、流れを追うのに苦労しました。あの話し合いで、「若い人なら簡単なのにね」の声に深くうなずいてしまいました。18日飯田教会の婦人会例会で、報告しました。児童心理、精神科の教授をされている会員から、子どもを守るために施設の現状などを、お聞きしました。映画の中で、担当者が変わることに抵抗して、



泣き喚いていた子どもさんの話になりました。「多分その子は親に捨てられたというトラウマを持っていて、また自分を愛してくれた大切な人に捨てられるという、恐怖がある。そこから立ち直るのに、かなりの時間がかかる。担当者が変わることは、施設では当然あることなのだが、事前に時間をかけて、ケアしなければいけない。悲しい別れでなく、希望を持たせることが大切。」と教えてくれました。

たとえ愛してくれる親がなくても、「あなたはかけがえのない子どもであり、愛されることが当然なのだ。そ

して何より、神様があなたのことを、強く強く愛していくくださるのだから、安心していきなさい。」と……私自身にも、また皆さん

も大声で伝えたい言葉です。そろそろ終活にはいる私も神様の子どもですから。

## ▶P2 児童養護施設“光の子どもの家”から続く♪

\*沿革：児童養護施設“光の子どもの家”は1982年秋、開拓伝道期の日本キリスト教団東大宮教会で原田 史郎、多恵子牧師と田中 郁夫、竹花 信恵、菅原 哲男が「教会=聖書で語られる言葉を証する働きとして用いられたい。言葉による約束は肉体(行動)を通して顕される」との熱心な祈りから、設立への第一歩を踏み出す勇気を得たものである。

\*施設理念：家庭に事情があって、家族と共に暮らすことが出来なくなった子どもたちの「家」としてつくられました。「光の子として歩みなさい」という聖書の言葉から名付けられたこの家は、子どもたちが様々な困難を訓練に変えて乗り越え、やがて互いに輝き合えるようにとの祈りが込められています。それぞれの家で一緒に暮らす人たちを家族といいます。だから光の子どもの家で暮らす者たちは、みんな家族なのです。

児童養護施設は原則として2歳以上の子どもたちに関わります。幼く小さいときの関わりは生涯にわたり影響を与えます。それ故、関わる大人はその生涯の責任を問われます。人はそれぞれ寂しさや悩みを抱えて生きています。そのような問題を隣り合いながら解決していく仲間・家族の家として、光の子どもの家はあります。

子どもたちが持つ未来とその可能性を信じ続けながら、

受けてきた過去の問題を共に解決し、子どもたちの安心と安全を確保するために力を尽します。この今を大切にして未来を望み、そして、生まれたこと、出会えたことを喜び合えるようにしていきます。

子どもたちは泣くことも出来ないような絶望的な状態で、光の子どもの家にやってきます。それでも、やがて喜びと希望に満ちて羽ばたくことが出来るようになります。＊光の子どもの家ホームページより

◆機関誌「光の子」の購読をご希望の方は、ホームページ「お問合せ」からメールを送信、または光の子どもの家に直接ご連絡ください。

◆いのちのことば社より菅原哲男さん（光の子どもの家理事長）と岩崎まり子さん（保育士）、竹花信恵さん（施設長）による『隣る人』の共著が出版されました。ぜひご覧ください。

\*社会福祉法人 児童養護施設 光の子どもの家  
〒349-1155 埼玉県加須市砂原277  
TEL 0480-72-3883 FAX 0480-72-6649  
<http://www.hikarinokodomonoie.com>



## テーブル毎のディスカッションから

\*『隣る人』から私たちが感じたこと、見えてきたことは…

▶映画の音声が聞き取りにくかった。場面展開が難解。

▶ドキュメンタリーで筋立てがなく、抽象的な部分も多かったので、事前に映画内容の説明があると内容を理解しやすかったのでは。

▶もう少し短めの映画だと良かった。

▶映画でなく写真でも良かったのでは。

▶じっくり時間をかけて考えながら観られた。

▶お母さんが二人も三人もいるのが良い。手を掛けて育てていることに感動した。子どもが泣いている…素敵だった。

▶傷ついている子どもに献身的な職員の心身は、健康でなければ接し続けることも、愛情を与え続けることもできないと思うので頭が下がる。

▶礼拝に子どもと行っている話し（映画鑑賞後の解説）を聞き素晴らしいと思った。

▶「マリコさん、大好き！」と言う子どもの言葉が感動的。

▶お母さんに成りきっている保育士さんに感動した。

▶家に帰れない子どもが大人以上に考えていることが分かった。

▶施設より家庭の様子がよく窺えた。キリスト教で縛り付けない運営方針を感じた。

▶光の子どもの家に募金したことがある。子どもたちの成長は支援者により支えられていることがパンフレットなどから理解できた。

▶抱きしめられる安心感を再確認した。

▶心に傷を負った子どもたちの将来は？「完了」＝自分で終わりと認められれば前に進めるのでは。

\*『隣る人』をベースに、私たちが感じたこと、見えてきたことは…

▶日本では施設と宗教が乖離しているケースが多いが、そこに神様の愛が加われば、もっと子どもたちが大きく羽ばたけるのでは。

▶泣くこと周りの注目を集める子ども…神様の愛↓（上から）、隣人との繋がり←→（双方）。

▶それぞれの子どものその後が気になる。

▶今すぐ「どうする」ことは出来ないが、「何ができるか」との問い合わせが心の中で発酵していくのではないか。それが重要。

▶映画上映会の企画がタイムリーだった。この企画により、児童養護施設、児童（両親・大人も）問題を身近に感じられた。

▶ディスカッションの導入として、映画鑑賞が話題のきっかけ作りとなり良かった。

▶少子高齢化社会が身近になっている事も含め、教会は初期のキリスト教会の様に社会への積極的な働きかけが必要では。

▶教会は福祉の面では行動してきたのではないか。貧困・飢餓など現状を見ると無力を感じるが、身近な小さなことから（自分の教会）始める。

▶教会に知的障がい者がいる。

障がい者や社会的弱者に焦点を合わせることが大切。

▶昼食を100円（と廉価）にして、共に食することで係わる。

▶教会（八王子）のC・S キャンプなどでは、子どもたちの保護者が協力的（献金も含め）。今後に期待はある。

▶時間的・社会的制約の中で難しいが何ができるか考えたい。



## 関東エリア・日本福音ルーテル教会の児童福祉・母子支援施設

キリスト教精神に基づいて愛の奉仕を実践しています。 \* お気軽にご連絡ご相談ください。

社会福祉法人ベタニヤホーム <http://ベタニヤホーム.jp> \* 今春ホームページリニューアル予定  
〒130-0022 墨田区江東橋 5-4-1 TEL 03-3631-0444 FAX 03-5600-4328

◆母子生活支援施設ベタニヤホーム  
配偶者のいない母親とその18歳未満の子どもが入所して生活しながら必要な福祉サービスを受けられる施設です。

◇文花子育てひろば  
親子で自由に遊べる広場。私たちは皆様と一緒に子育てを考え、子どもの健やかな成長をお手伝いします。

◆ベタニヤホームおひさま保育室  
保護者がパートタイム勤務や短時間就労などで保育が必要な方のために就労形態等に対応してお子様をお預かりします。

◇菊川保育園  
富士見保育園  
こひつじ保育園

社会福祉法人千葉ベタニヤホーム <http://www.c-bethany-home.com> \* 今春ホームページをリニューアル予定  
〒272-0827 市川市国府台 2-9-13 TEL 047-372-3740 FAX 047-374-0044

◆国府台母子ホーム（母子生活支援施設）  
<http://www.kounodai-cwa.com/index.html>  
18歳未満のお子様を育てている母子家庭の自立支援を行っている児童福祉施設です  
定員 20世帯から30世帯へ増員予定。

◇ニコニコ学童クラブ  
放課後、夏休み等の長期休暇に子どもたちが安全に過ごせる居場所として開かれています。

◇児童家庭支援センター・こうのだい  
地域の子どもや家庭問題の相談・支援を行っています。お子様からの相談も受け付けています。

◇国府台保育園

◆旭ヶ丘母子ホーム（母子生活支援施設）  
<http://www.asahigaoka-cwa.com>  
千葉市若葉区にある18歳未満のお子様を育てている母子家庭の自立支援を行っている児童福祉施設です  
定員 40世帯120名。

◇学童保育クラブ旭ヶ丘  
保護者が不在の間に子どもたちが安全に過ごせるよう、早朝から夜間まで対応しています。

◇児童家庭支援センター旭ヶ丘  
地域の子どもや家庭問題の相談・支援を行っています。お子様からの相談も受け付けています。

◇旭ヶ丘保育園

## ❖東京老人ホーム訪問に寄せて

晴天に恵まれた 11 月 21 日土曜日の午後、東京老人ホームを訪問いたしました。ホームにはむさしの教会で長い間牧師夫人をなさって、私たちが大変お世話になった賀来先生の奥様が入居されていらっしゃるので、ぜひ奥様にお会いできることを楽しみに参加いたしました。まず最初に、高橋睦施設長のご挨拶があり、ボランティアグループ世話人代表の大森はつ子姉のボランティア募集のアピールがありました。少子高齢化社会が進む中、東京老人ホームでも職員の方たちを助けるボランティアの活動が、大きな役割を果たしていることが良く分かりました。

お話の後はお手伝い作業に移り、汚れたおむつを入れる袋を作りました。青白 2 枚の大きなビニール袋を重ねた中に、新聞紙をたたんで入れる作業でした。「1 年に 1 回でも、こうして老人ホームのお役に立てれば嬉しいです。」と、皆さん一生懸命お手伝いしました。

お手伝い作業の後は、楽しい交流会でした。前半はむさしの教会女性会メンバー（サフラングループ）：青村ゆかり姉のボーカルとお仲間の伊藤公子姉のピアノ伴奏でカントリーソングが演奏され、英語の曲が次々と歌われる中、『思い出のグリーングラス』や『テネシーワルツ』など馴染みの曲が始まると入居者の方々も、一緒に歌ったり手拍子を取り、大変盛り上がりました。歌の合間に青村ゆかり姉のお話がとても良い雰囲気を作っていました。最後の歌（5 曲目）では女性会役員の方たちの飛び入りダンス出演もあって、とても楽しかったです。

後半はカントリーダンスで男性 3 名を含む 9 名のダンサーが楽しそうに踊る姿に、入居者の方々も私たちも手拍子を取って盛り上げました。衣裳はカーボーイハット、赤や青のストライプが入ったシャツにジーンズ、ブーツという

## むさしの教会 \* 萩森恵美子

出で立ちが素敵でした。ラストの曲は『ロックンロールキング』という速いテンポの賑やかな曲で、10 才も 20 才も若返った気分になりました。

そして最後は女性会役員方から入居者のお一人お一人に、各教会女性会手作りオーナメントの素敵なクリスマスプレゼント（注：一日神学校ミニショップ在庫にプラスしたもの）が配られ、楽しい交流会が終了となりました。このようにとても楽しい時を入居者の方々と女性会皆様と過ごせたことを東教区女性会役員の皆様に心から感謝申し上げます。



## ❖東京老人ホーム・ボランティアのお誘い

世話人代表 \* 大森はつ子

最近、ボランティア活動をしておられる方のご紹介で新しいお仲間が参加してくださっています。とても嬉しいことですが、同時にご家族の介護、ご自身の健康上の理由で、活動を止めざるを得ない方もいらっしゃいます。お時間のある方、ぜひ、ご一緒に活動しませんか。お待ちしています。

### ◆現在のボランティア活動状況

全体: 46 名 / ルーテル教会員 32 名、他教会員 2 名、地域の方 12 名

### ◆活動時間

①月・火・木・金…10:00～12:00、13:00～15:00

②水・土…10:00～12:00

### ◆活動内容：入浴介助

・お風呂から出た方の髪を乾かす、靴下を履かせて差し上げる

### ◆他の活動内容

③第 1 水曜：皆で歌を歌う会

④毎週土曜：洗濯物をたたみ、各部屋へ配布

⑤随時：見守り、お話し相手、囲碁・将棋のお相手など。ボランティア室での縫い物、捨て布作り、清拭作り、ごみ集め作業。

### ◆活動を始める時

\* 活動曜日・内容を決めて登録。ボランティア保険に加入。年間 300 円～700 円程度

\* 交通費（武藏野市・西東京市在住以外の方）が支給されます。

\* 食券 350 円を購入、職員食堂（地階）で昼食可能です。

### ◆お申込、お問合せ

ボランティア世話人代表：大森はつ子（むさしの教会員）迄  
TEL: 03-6761-8156

### ◆ボランティアとは

①自分の持っている時間を自分以外のことのために献げること、そこに自分の心を満たす深い思いがあるのです。

（日野原重明医師：聖路加国際病院名譽医院長）

②社会の制度や法律によって出来る「隙間」を埋める潤滑的な活動。聖書の「み心にかなう人」をラテン語で VOLUNTAS といい、ボランティアの語源です。

（キリスト教カウンセリングセンター理事長：賀来周一牧師）

# シャロンの花 を訪ねて Vol.2

## 家族、病気、仕事のこと何でも分かち合える昼食会

長野教会 \* 小松 紀子

私たちの教会は甲信地区では一番歴史の浅い、そして、一番小さな教会です。現在は、松本教会との兼牧で野口勝彦牧師が牧会をくださっています。毎週10人足らずの小さな群れで礼拝を守り、礼拝後は、毎回、持ち寄りの昼食会をしています。昼食会では食事をしながら家族のこと、病気のこと、仕事のことなどをみんなで分かち合い、励まし合っています。そのような昼食会をするようになってもう15年以上が経ちました。長野教会の詳細については教会ブログ <http://naganomatsmoto.blogspot.jp/> をご覧ください。



紅葉が美しい長野教会外観



昼食会：季節の恵みを味わいます

## できることを、担い合って

日吉教会 \* 穂田 信子

日吉女性の会は、定例会を8月を除く毎月第4日曜午後に昼食を持ち寄って行っています。姉妹がちょっと多めに用意する昼食を、教会の兄弟姉妹にもお裾分けしながら交わりの時を持ちます。聖歌隊が聖堂で練習をする声がバックグランドミュージック。聖歌隊メンバーのために練習後もテーブルにお昼ご飯が残っているように、ちょっと気配りをしながら…。

例会の前半は毎月の司会者のもと、祈りと讃美歌で始め、女性会連盟から送付される「聖書研究」に従って、斎藤牧師のリードで聖書を学び、話し合います。信仰歴も出身地も仕事のあるなしも様々な姉妹の思いを、皆で聞き、信ずるところを述べ合うことができるの大変貴重なひと時です。

定期的な「お仕事会」はしていませんが、時々に被災地の生産物や、北海道特別教区の昆布やお豆の購入斡旋を教会内で行ったり、子ども祝福式礼拝等の教会行事のお手伝いでご奉仕させていただいています。今後は教会外に活動の場を求めて行く状況になるかもしれない、プロジェクトベースで企画を立てられたら、それを通じて信仰生活が広がり会員のタラントの発見にも、定例会にあまり出られない姉妹と知り合うきっかけにもなるかも、と夢見ています。



笑顔の花が光りに照らされて



聖堂・献花・良き訪れカード

# シャロンの花 を訪ねて Vol.2

## 新しい風

津田沼教会\*清水 英子

津田沼教会は、1949年仏教の伝統地に開設された中山伝道所が1989年復活祭の日に移転をして活動を始めた教会です。女性会は1966年に「婦人会」として設立、現在は50代から90代までの女性がその活動を支えています。活動内容としては毎月第1日曜日午後の例会、3月世界祈祷日礼拝の参加、イースターなど特別礼拝後の愛餐会のご馳走作り、地域の方々が楽しみにしてくださる11月開催のバザーへの協力などがあります。特に愛餐会の料理はちょっとしたホテルのビュッフェのように品数もかなり多い上に美味しいと、毎回参加者の楽しみになっています。昨年は長崎・五島列島を旅行された会員の方から話を聞き、キリストの歴史などのレクチャーを受ける機会も設けました。今年はそのように会員同士が共に楽しんだり学んだりする時間も大切にし、“新しい風”としてその喜びを地域の多くの人たちに広げていきたいと考えています。一方で一般社会と同じように津田沼教会もまた高齢化の切実な問題を抱えています。今後女性会ならではの思いや祈りのもとに、具体的な支援や奉仕活動が必要とされることでしょう。でもきっと大丈夫!! 半世紀以上キリスト教に全く縁の無かった私が出会った津田沼教会女性会の皆さんには、本当に前向きに逞しく、そして優しいです。



和やかな愛餐会



お味は折り紙付き



前向きで逞しく優しい笑顔

## 教会に連なる喜びをともに

大岡山教会\*鈴木 泰子

主の御名を讃美いたします。大岡山教会の女性会を紹介する機会を与えていただき、感謝を申し上げます。例会は第一水曜日、連盟会報の聖書研究を参考にしながら、松岡牧師とともに学びの時間を持ちます。先生のお話をうかがうだけでなく、質問や意見交換もしますが、多くの発言が飛び交い、とても濃密な時間です。その後、報告や、活動についての打ち合わせをします。おいしいお茶やお菓子をいただきながらの時間です。仕事や介護など、平日の例会の出席が難しい会員も多いので、不定期ですが、日曜の礼拝後に集まりをすることもあります。年齢や立場は異なっていても、教会を中心としてひとつです。教会には、さまざまな働きの場がありますが、そのほとんどの場面で、女性会の会員が大きな役割を果たしています。そのような姿を見ていると、神さまが私たちに多くの賜物を与えてくださり、それを生かす場が与えられているのだと思います。(安倍首相が「女性が活躍する社会」を盛んに主張していますが、教会はそれよりもずっと先をいっていますね。)教会に連なることによつてしか得られない、大きな喜びです。松岡牧師も例会で必ずおっしゃることですが、信仰は一人でしていればよいのではなく、教会に連なることが大切、その言葉を実感しています。これからも自分たちの働きが、神さまの豊かな祝福にささえられることを感謝しながら、信仰の道を歩んでいきたいと思います。



リラックスした語らいの時



一堂に会する恵みに感謝

## ❖“神学校の時間”から

10月27日（火）16：30～“神学校の時間：毎回、神学生が主体的に内容を企画・運営する時間”に招かれてルター寮を訪問しました。神学生から役員会へ事前に設問がありました。

1. 牧師に求めることは
2. 女性会と壮年会を分ける必要性について
3. 各教区ごとの女性会の特徴
4. 女性会の組織としての意義と課題

当日はモニター・資料を使用しながら設問に対して説明させていただいた後、自由なディスカッション。夕礼拝（平岡仁子牧師司式）、夕食を共にして参会となりました。非常に有意義な授業であったことと、石居校長、河田チャップレン、平岡牧師、企画してくださった神学生みなさまに感謝です。今後は、女性会からもさらに機会を設けて神学校・神学生との交流を計画、相互理解を深めていきたいと思います。（下記、設問への回答）

1. 牧師に求めることは：- 将来の牧師になるであろう神学生に-
- ◆幅広い人間性を求める。教会には様々な問題を抱えた人々も集まるので、その求めに対してどの様に応えていくか。
- ◆信徒は牧師を指導者、牧者と見るので心理学・カウンセリングの力も必要。大変ではあるが神学校で人間の勉強もしてほしい。
- ◆誰もが神に愛されている存在であることを伝えることが、指導者であり、神学であり、人間考察であろうと思う。何を優先すべきか、大切にすべきかを常に自身に問い合わせ、周りに示すことが求められる存在だと思う。

### 2. 女性会と壮年会を分ける必要性について

- ◆教会の規模や状況にもよる。お互い役割分担をしながら協力できるような柔軟性があつて良いのでは。
- ◆性的少数者への認識が社会的にも変化しつつある現在、女性会、壮年会との括り方を取り続けられないのでは。
- ◆高齢化、構成員の減少等により統合する次期だと思う。それぞれの組織の特性を生かしつつ合同で宣教に目を向けるべき時では。

### 3. 各教区ごとの女性会の特徴（各教区報告からの抜粋）

- ◆北海道特別教区：『今後3年間の抱負』
- ・変化の中にあっても現状維持ができるように。各個教会女性会役員の担い手が同じ顔ぶれで継承が困難な傾向もある。地域性として都市間の距離感が大きく、自然を身近に感じて自主独立性がある。今ある女性会が自分たちの存在価値を見出し、互いの調和を大切にすることで未来へと繋がると思う。全国の教会員に昆布の購入協力を頂き、お支えと繋がりを感じることに感謝。

- ◆東教区：『未来へと新しい歌を主に向かって歌おう』
- ・活動継続には伝えたい思いの強さ、記憶していく責任が伴う。顔の見えるコミュニケーションから“今とこれから”へ、何が必要かを新たな視点から見直し、その上での新しい協働作業を計画したい。TNG:The Next Generation 次世代育成支援プロジェクトへの理解・活動支援は神学校・神学生支援も含め、次世代・社会へ広がる宣教伝道の第一歩。自分自身→隣人→社会の癒しの繋がりを大切に。全ての世代・性別・民族の括りを外して社

報告：東教区女性会 \* 八木久美

会的困難者の背負う課題に向き合い配慮を持ちたい。

- ◆東海教区：『神の愛に生かされて』

・女性会正会員数：年代構成は多い順に70代、60代、80代で60代以上が8割。女性会だよりは年2回発行。「聖書の中の女性たち」「女性の視点から見たルター」の連載も好評。女性の集いは共に礼拝・賛美し、普段聞くことのできない説教に接する楽しみがある。大切に引き継がれてきた福祉村の為に祈り、支援していく。まきばの家・こどもの家“グリーンズ・フェア”特別養護老人ホームディアコニア夏祭りバザーの支援なども。

- ◆西教区：『つながり』の模索』

・会報のみでなく地区連絡会・役員会・会計報告などタイムリーに配信。各個女性会の意見・要望・質問、役員会からの問い合わせ・依頼やレスポンスへのフィードバックの流れを作る（情報の共有化を）。翌2ヶ月分の行事予定などの配信、互いに祈り・支え合う。情報の行き来がスムーズになれば相手に思いを馳せ、共に感謝し、女性会の枠に縛られ過ぎず壮年会、若い世代とも繋がりにも期待したい。

- ◆九州教区：『神様とわたし』

・「神様とわたし」「となりびと」の関わりについて自分たちの状況を理解の上で出来ることを。教区役員会、プロジェクト委員会

合同冊子「いこいのみぎわ」を発行。教会来会困難者へのフォローに使用。高齢化、地区による温度差によらず各自が神様と私の関係を証する「My Story」は神様の恵みの再確認と聞く側の励ましの恵みとなる。力強く証していくことは、後に続く若者たちへ主にある希望となるのでは。時間の制約（仕事を持つ者が大半）の中で“今、何ができますか”を主に問い合わせチームとして助け合い、祈り合い進みたい。

- 4. 女性会の組織としての意義と課題（※次号会報第3号で）

- 5. 女性会から神学生への質問「今、神学生が直面していることは？」

◆本当に牧師としてやっていかれるかどうか。

◆家庭を持ちながらの献身は悩み（経済的・家族に対しても）があったが多くの支援が得られて感謝。これを維持継続していきたい。

◆本を読む時間が足りない。家族（妹）との同居、世話も課題。

◆牧師が纏めていくことの重要性→リーダーシップを取って良い場合と悪い場合の見極めとは。

◆ルーサーリーグへの女性会連盟・女性会の支援に感謝。

◆若者、学生へのアプローチをどうやっていくか。

◆3.11の出来事は、自分の中では不条理。他の人へは伝わりづらい。

◆NRKで二人目（按手を受けると）の献身者。女性の立場からの献身。家族を北海道に置いてきている現状。

◆宣教研修先で、昼食時決まった席が無い→年配者の教会員からは孫の様に思われ感謝だが、何を話して良いかわからない。

以上、率直で瑞々しい彼らの感性と思いに接し、私たちも常なる祈りとコミュニケーション、相互理解による支援の意味を実感しました。＊各個女性会みなさまのお祈り・お支えに感謝です。

# 「死ぬことなく、生き長らえて 主の御業を語り伝えよう」

(詩編 118 編 17 節)



今年の3月に日本ルーテル神学校を卒業し、日本福音ルーテル教会の教職とさせていただく予定の、秋久潤（あきひさじゅん）と申します。出身はルーテル大森教会で、実習は武藏野教会、日本キリスト教団仙川教会、京都教会（3年次宣教研修）、東京教会で行わせていただきました。

私はクリスチャンホームに生まれ、3歳くらいまで教会に通っていました。しかしその後、教会からは離れ、仏教との関わりが多い中で育ちました。今でも般若心経を聴くと、小さい頃の実家の仏壇を思い出します。お寺や神社にもお参りをしていましたが、小学校高学年になると、宗教との関わりは次第に薄れていきました。

しかし20歳の時に、学業で自分の理想と現実（能力）の違いを知り、挫折を体験しました。たまたまキリスト教のことを書いたウェブサイトに出会い、三浦綾子氏の小説などを読んで、教会に通ってみようと思いました。教会内で誘われるままに教会活動や中高生キャンプに参加するなかで「人と人とが、神様を中心に、自分の悩みや考えを話し合う『場』があるのだ」と



❖ご卒業おめでとうございます!!

## 日本ルーテル神学校4年卒業 \* 秋久潤

感動し、自分もその働きに携わりたいと思ったのが、献身の大もとのきっかけです。

神学校に入ってからも、何度も挫けそうになりましたが、その中でも続けることができたのは、神様の靈が働いてくださったからです。卑近な例ですが、朝、布団から出られないとき、主の祈りを祈ると、何とか立ち上がる事ができるのです。また、私が道を外しそうになったり、落ちこんでいるときにも、神様が私を支え、私のために祈ってくださる方がいるおかげで、なんとか生き長らえることができたと感じます。

冒頭の聖句は、私の支えとなった聖句です。「もうだめだ」という私の自意識を越え、神様が宣教者として立たせてくださるのだと、励ましを受けました。そして、祈りは必ず聞かれること、祈りは具体的な力を持っていることを、私自身が祈られている側として確信いたしました。

神学校を卒業する今、私はキリスト教と仏教との関わりを学ぶ必要性を感じています。私自身がキリスト教と仏教の関わりを持って育ったこと、そして日本においてキリスト教を宣教するにあたり、仏教との関わりが大切だと感じるためです。これからも皆様のお祈りとご指導を頂きつつ、宣教の業に励んで参りたいです。何卒よろしくお願ひいたします。



## ♦世界祈祷日礼拝のご案内



キューバからのメッセージ

### 「子どもを受け入れなさい、そしてわたしをも」

1877年、アメリカの女性たちが移住者や抑圧されている人々を覚えて祈祷日を始めました。その後、2度の世界大戦を経て和解と平和を求める祈りへと教派を超えて広がりました。現在では、世界祈祷日国際委員会「WDP」が中心となり、世界中で毎年3月第1金曜日に「世界祈祷日」が守られています。テーマに沿って共に祈り、キリストの愛を世界中に広めています。日本では、1932年から第二次世界大戦中を除き毎年開催されています。1949年より、日本キリスト教協議会(NCC)女性委員会がWDPより送られてくる原文をもとに、日本語式文を作成し配布しています。「世界祈祷日」の献金はWDPを通して式文作成国の女性たちの活動のため、国内外の女性たちのはたらきのために献げられます。



今年の世界祈祷日礼拝は3月4日(金)日本バプテスト連盟常盤台バプテスト教会に於いて開催されます。開催時間・内容の詳細はP12裏表紙をご参照ください。

「ここに子どもたちを来させなさい。神の国はこのようなものたちのものである。子どもたちを受け入れなさい。そしてわたしをも」。私たちはこのイエスの言葉を世界祈祷日に集う人々と、分かち合いながら、キューバの女性、子どもたち・日本の子どもたちの言葉に耳を傾け思いを寄せ、心を合わせて祈ることができますように。

当日用いられる式文はキューバ式文編集委員会によって2013年から2014年にかけて作成されました。この日本語式文は式文作成当時のキューバ女性の意思を尊重し、その後のキューバの政治情勢の変化に左右されることなく、原本に基づいて翻訳・編集しております。

第3回会長会&女性の集い会場：聖パウロ教会です。ご来会をお待ちしています！

## シャロンの花 を訪ねて Vol.2

### 地域に開かれた場 女性たちも輝いています！

聖パウロ教会\*佐々木 順子

都営新宿線菊川駅より大横川を渡り、橋の中央で、まず、地上634(ムサシ)mの東京スカイツリーを眺めて角(かど)の教会へと入ります。玄関は教会の顔ということで女性の意見を取り入れて、玄関回りの内装を新しくしました。そこから1階の集会室では礼拝、面談、集会、祈祷室、会議、会食、台所と仕切り板を活用し、用途に応じて、小規模型多機能スペースとして有効利用されています。2階は牧師館、3階は礼拝堂。教会全体が大きくも、小さくも一つとなり、地域に開かれたものとなっています。

「はじめにキリストがあり」と今の時代の中に光、新しく作り出す創造の光、その光は消えることがない力と希望になるように毎週、教会生活が営まれています。女性たちも輝いています。年輪を重ねても！



スペースを有効利用して地域に開かれた教会



創造の光に輝く笑顔

# ❖ 監査報告【23 期東教区女性会会計 2015 年度決算・2016 年度予算案】

2015 年度（2015 年 1 月 1 日～12 月 31 日）東教区女性会会計決算、2016 年度予算について監査結果をご報告いたします。

みなさまのお祈りとお支えの内に、2015 年度の教区女性会会計が守られましたことを深く感謝申し上げます。

- 1. 監査日時：2016 年 2 月 10 日（水）13 時 30 分～15 時 00 分
- 2. 場 所：むさしの教会二階第一集会室
- 3. 監 査 人：立石 節子姉（第 23 回教区女性会総会選出）、大牧 正子姉（第 23 回教区女性会総会選出）
- 4. 立 会 人：岸田 多希子（教区女性会会計）、八木 久美（教区女性会役員）

## 東教区女性会

## 収支決算 - 予算(案)

23期

2015年度決算/2016年度予算（案）

単位：円

費 　目	2015年度		2016年度	2015年内訳
	予算	決算	予算（案）	
収 入	東 教 区 会 費	576,000	598,200	588,000 1,200円×499人（-600）
	教 区 便 6 購 読 費	20,000	22,200	20,000 100×222部
	教 区 活 動 支 援 献 金	250,000	239,190	250,000 席上 109,110 20教会 4 個人 130,080
	感 謝 献 金	45,000	130,200	50,000 16教会 65,400 手芸品 64,800
	コーヒーショップ	50,000	83,150	60,000
	雜 収 入	1,000	720	1,000 普通預金利子・定額利子
	仮 受 金		0	
	小 計	942,000	1,073,660	969,000
	前 年 度 繰 越 金	1,126,185	1,126,185	1,133,624
取 入 合 計				
支 出	教 区 便 6	60,000	65,038	60,000 印刷・発送等
	会 議 費	100,000	84,556	100,000 説教・オルガニスト・上映費等
	交 通 費	270,000	191,830	240,000 役員会・会長会
	教 区 交 流 費	120,000	80,310	120,000 遠距離教会交通費
	支 地 区 活 動 費	60,000	30,000	30,000 甲信地区
	次 N T 育 成 支 援 金	80,000	122,205	100,000 TNG 112,305 神学生へ手帳
	通 信 事 務 費	20,000	14,923	30,000 事務用品・郵便等
	慶 弔 費	10,000	0	10,000
	備 品 費・予 備 費	10,000	0	10,000
	支 援 献 金	160,000	311,068	200,000 東北・ベタニア・千葉ベタニア・ほしくずの会・ ブラジル・東京老人ホーム・神学校
	連 盟 総 大 会 積 立 金	100,000	100,000	100,000
	東 教 区 総 会 積 立 金	50,000	50,000	50,000
	コ ハ シ ヨ ッ プ	10,000	10,963	10,000 材料費・包装費
	雜 費	1,000	5,328	5,000 振込手数料等
	仮 受 金		0	
	小 計	1,051,000	1,066,221	1,065,000
	次 年 度 繰 越 金	916,226	1,133,624	1,037,624
	支 出 合 計	1,967,226	2,199,845	2,102,624

## 支援献金・内訳

支援先	
ほしくずの会	30,000
東京老人ホーム	30,000
ブラジル伝道	20,000
ベタニア	20,000
千葉ベタニア	40,000
神学校 ①	134,263
東日本	20,000
光の子どもの家 ②	16,805
計	311,068

連盟送金・内訳	
会費	1,296,100
会報購読	115,000
連盟支援	81,223
感謝献金	116,954
サバ支援	260,400
リーストコイン	68,135
ACWC	3,300
計	1,941,112

① コーヒーショップ・ミニショップ利益

② 女性の集い席上献金より

## 連盟大会・教区総会積立金

積立金会計	收 入	支 出	残 高
連盟大会積立金	200,000		
宿泊費		118,200	81,800
15年積立	100,000		181,800
教区総会積立金	300,000		300,000
総会費		89,503	210,497
15年積立	50,000		260,497

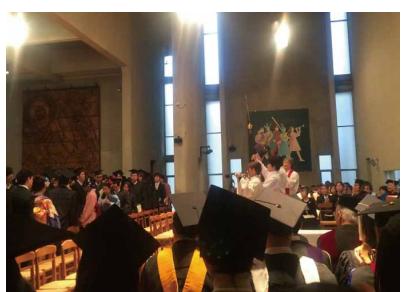
## 現金・貯金・残高

現金	38,141	次年度繰越金	1133,624
通常郵便貯金	1537,780	積立金残高	442,297
	1575,921		1575,921

定額預金：(旧)19期用いたまえ愛の主よ基金 500,000 円

## 神学校・神学生への理解から支援へ

<http://tngteens.hamazo.tv/> ← このサイトから神学校通信へ



「神学校と神学生へのより良き理解」を深めるには何が必要か。「TNG- 次世代育成宣教プロジェクト」、「癒しとは」「介護について」など、みなさまからのご意見をお寄せください。お待ちしています。

## 次回会長会＆女性の集いのご案内

4月16日(土)10:30開催予定の第3回東教区「会長会＆女性の集い」は聖パウロ教会を会場に開会礼拝：小泉嗣牧師選激励、“召天された姉妹を憶えて”祈ります。第2部は演題『介護する側の実際と意義』を小勝奈保子牧師が御自身の体験も交えてお話しの後、テーブル毎にディスカッションと親睦の時を予定しています。少子高齢化が進む現在、「介護」は私たち自身や周囲で身近な現実問題となっています。悲喜交々、大変なこと、悩み、迷い、良かったこと等々。声に出すことで少し楽なること、ならないこと。気付きもきっとあるはずです。男性も若者も大歓迎です。みなさまお誘い合わせの上、どなたも奮ってご参加ください。

❖ からの予定・ご案内 ❖



◆世界祈祷日礼拝



キューバからのメッセージ「子どもを受けいれなさい、そしてわたしをも」

日時：3月4日（金）13:30～15:30（受付13時～）

会場：日本バプテスト連盟常盤台バプテスト教会 板橋区常盤台2-3-3

Tel 03-3960-0449

東武東上線 ときわ台駅北口下車 徒歩3分

奨励：魯 孝鍊（のひよりやん）牧師（日本バプテスト連盟東京北キリスト教会）

中西 久氏（カトリック松戸教員）

主催：日本キリスト教協議会（NCC）女性委員会東京地区「世界祈祷日」準備委員会

◆東教区定期総会コーヒーショップ & 全国総会コーヒーショップ



日時：教区総会3月21日（月・祝）10:00～16:00、全国総会会期中5月4日（水・祝）

会場：日本福音ルーテル東京教会1階ロビー

◆コーヒーショップ・販売＆販売品制作へみなさまのご協力をお願いいたします。

ケーキ、クッキー類の制作、コーヒー、紅茶類の販売。他販売品のご希望や

ご不明の点はご連絡ください（e-kmy@tenabo.com 八木までご連絡ください）

◆第三回 東教区女性会会长会&女性の集い

日時：4月16日（土）10:30～15:00

会場：日本福音ルーテル聖パウロ教会 〒130-0022 東京都墨田区江東橋5-3-1

開会礼拝：小泉 嗣牧師（千葉教会）

召天された姉妹を憶えて 礼拝後：各協力委員からのアピール

第2部：「介護する側の実際と意義」について

講師：小勝奈保子牧師（聖パウロ教会）



◆甲信地区女性の集い

日時：6月11日（土）（詳細は3月の甲信地区5教会女性会合同役員会にて決定）

会場：日本福音ルーテル松本教会地区センター

担当：日本福音ルーテル飯田教会女性会

◆連盟・各教区合同役員会、被災地訪問

日時：6月21日（火）～23日（木）

会場：日本福音ルーテル仙台教会、石巻地区

引率：野口勝彦牧師（松本教会・長野教会）



❖ 編集後記 ❖

教会の紅白の梅の花も咲き揃い、春のきざしが、感じられます。今回も、今春 神学校を卒業される秋久神学生をはじめ、多くの方々から原稿をお寄せ頂き、完成いたしました。ありがとうございました。（K.H）

年度が替わるこの季節。卒業、入学、転勤、引退。出会いと別れ…様々にゆれる気持ちの中で、次なるシーンへの新たな一頁がめくられる時でもありますね。梅香に乗せて、お一人おひとりに幸多かれと祈りつつ（K.Y）



東教区女性会会報 第88号（23期第2号） 2016年2月22日

発行人：日本福音ルーテル教会女性会連盟 東教区女性会

発行者／編集：八木 久美 編集：保坂 和子